

なすまどか議員が一般質問を行いました

市長選後の初の定例会市議会が開会し、12月12日なすまどか議員が大西市長に対して一般質問を行いました。

「子ども医療費助成の中学3年までの拡充」や「小中学校全ての教室へのエアコン設置」など、これまでの市民運動や議会への陳情が、市長公約に実を結び、前向きな答弁がなされました。



なす「普通教室へのエアコン設置を早急に！」 大西市長「エアコン設置は優先度が高い。任期中に実現したい」

共産党市議団としても、これまでの議会で普通教室へのエアコン設置を求めてきたほか、人吉市への調査や国への予算要望などを行ってきました。

政令市20市中、12市が普通教室へのエアコン設置済みまたは設置予定です。なす議員は「市長公約に掲げられた全教

室へのエアコン設置について、来年度予算から設置を進めてほしい」と求めたことに対し、大西市長は「教育環境の整備を進めていくうえで、優先度の高い課題。任期中でできるだけ早い時期に実現できるように進める」と答弁しました。

なす「来年度から中学3年まで子ども医療費助成の拡充を！」 大西市長「任期中できるだけ早く示したい」

「子ども医療費助成を中学3年まで段階的に引き上げる」との市長の公約について、なす議員は「新年度から中学3年まで一気に拡充し、子育て世代の願いに応えてほしい」と質しました。大西市長は「財源の確保策も含めて慎重に制度を設計していく」との答弁と合わせ「できる限り早い時期に市民と議会に示したい」と答弁しました。

これまで拡充を願う多くの市民が、署名行動や議会への陳情活動を繰り返し行ってきましたが、こうした取り組みが実を結び、前進の方向が示されました。



車いす使用・歩行困難な児童・生徒がいる 学校へエレベーターの設置を！

障がいのある子どもを持つ保護者から、学校にエレベーターの設置をとの要望が寄せられています。なす議員は、車いすを使用している子どもたちが在籍している小中学校27校のうち、エレベーター設置校がわずか1校であることを指摘。未設置の学校では、階段昇降機の利用となるため時間がかかり授業に遅れてしまうこと、階の違う多目的トイレが使えないことな

ど、学校現場で起きている具体的な事例を示しながら、整備計画を立て、順次エレベーターの設置を進めるよう求めました。これまで、新設、増改築時に限られていたエレベーター設置でしたが、大西市長は「既存施設については、学校現場における必要性や構造上の問題などを調査したうえで、設置について検討する必要がある」と答弁しました。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか
熊本市中央区手取本町1-1 3階

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP：http://www.jcp-kumamoto.com/

NO.930
2014年12月21日
電話 328-2656
FAX 359-5047

そのほか、市長公約であるがん検診の無料化とともに、特定健診や予防接種についても負担をなくし、受診率向上を図ること。地域経済活性化のために、抜群の経済波及効果を生んでいる住宅リフォーム助成制度を創設することなどを求めました。

人口・財政規模が同程度の
政令指定都市では

公共施設の維持更新で今後50年～60年で **1兆円** 規模の費用

300億円ものMICE施設を建てる必要はありません！

なす議員は、一般質問において、市長選挙の大きな争点となったMICE施設について「莫大な投資は、熊本市の財政を悪化させ、市民サービスの切り下げにつながる。きっぱりと中止をするべき」と求めました。

現在、多くの自治体では、高度経済成長期に建てた公共施設や道路・橋などの老朽化が進み、今後の建て替えや更新が大きな課題となっています。このような中、多くの自治体では、施設の更新費用について積算し、その対策方針（アセットマネジメント計画）を策定しています。

熊本市と人口や財政が同規模の自治体では、下表のように、今後

50年～60年間の間に1兆円規模の費用がかかると見込まれており、施設総面積の削減や管理のあり方など対策を講じる予定です。熊本市においても、同程度の費用がかかることが見込まれますが、その計画が策定されるのは今から2年後の2016年度です。

こうした時期に、さらに新たな大型ハコモノ・MICE施設に300億円もの税金をつぎ込めば、財政悪化を招き、市民サービスの切り下げにつながるのには間違いありません。

大西市長は「中心市街地の活性化のためにMICEは必要」と答弁しました。

市民の文化活動を支える中規模ホールの整備こそ必要

大西市長は、MICE施設を、コンサートやエンターテインメントに比重を置いた施設として見直す方針です。

なす議員は「多くの費用をかけMICEを整備しなくても、市民会館や県立劇場でコンサートや文化催事は可能である」と指摘。「今、最も市民から必要とされ、中心市街地になく施設は中規模

ホールで、文化に特化した中規模ホールこそ整備するべきではないか」と質しました。

大西市長は「MICE施設のなかの多目的ホールで、中規模ホールの機能が確保できないか検討する」と答弁し、MICEに固執した態度を改めて表明しました。

他都市の公共施設・道路等の更新費用の比較

都市名	期間	総額	単年度額
新潟市	50年間	1兆2233億円	245億円
相模原市	60年間	1兆706億円	179億円
静岡市	30年間	9260億円	309億円
浜松市	50年間	1兆2700億円	245億円
岡山市	40年間	8217億円	205億円

共産党市議団・地区委員会 大西市長に来年度予算要望

日本共産党熊本地区委員会と市議団は、12月15日、大西市長に対して来年度の予算編成について要望書を渡し、懇談を行いました。

MICE施設の中止、国民健康保険料の引き下げ、介護保険料・利用料の軽減、住宅リフォーム制度の実施などに取り組むよう求めました。



大西市長（右）と懇談する重松党地区委員長と市議団